

はじめに

本県は県土の78%が森林であり、これら森林の間伐の実施箇所や、木材生産のための伐採跡地には、利用されずに残されている木材が存在することから、これらの未利用資源を様々な木質バイオマスの原料として利用し、林業の採算性の向上を図るとともに、化石燃料の使用削減による地球温暖化防止への取り組みを推進していくことが必要となっています。

一方、山梨大学においては、持続可能な社会構築のために木質バイオマスを中心とした持続可能な地域エネルギーの活用についての調査研究を行うなど、木質バイオマスについての知識や情報、利用のための技術を有しており、県下市町村のバイオマスタウン構想の策定に協力するなど、地域の木質バイオマスについての普及活動を行っています。

このため、平成20年度において、山梨大学と県・市町村及び産業界・NPO法人等で構成する「山梨県木質バイオマス利用推進協議会」を設置し、連携・協働することにより「山梨県木質バイオマス推進計画」についての協議を行ってきました。

この「山梨県木質バイオマス推進計画」では、利用を推進する上での課題を整理し、本県の現状に即した、それぞれの主体の取り組みを提示していくことで、木質バイオマスに利用を推進することを目的としています。